

平成29年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立田無第二中学校

●全国学力学習状況調査（小6・中3）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	1ー三「比喻を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く」	35.80%	・文章を読み返し、語句の使い方を工夫して書いたり、目的や意図に応じて自分の考えをまとめる力が身に付いている。	・国語の特質としての表現技巧の理解に課題がある。言語についての技能を高め、日常生活で活用できる力をつけさせる必要がある。
	7ー一「先生から必要な情報をもらうために適した発言に直す」	64.90%		
	5ー二「推薦者から」の欄に書き加える具体例に使う情報として適切なものを選択する	95.50%		
算数・数学	角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ	64.90%	領域別に見ると、関数の分野の問題の正答率が高くなってきている。評価の観点別に見ると、数学的な見方や考え方を対象とする問題の正答率が高くなってきている。	図形の分野において、作図の技能や空間図形についての知識・理解に課題が見られる。作図の根拠や見取図の読み取りなどの基礎の定着に力を入れる必要がある。
	直方体において、与えられた辺に平行な面を書く	64.90%		
	1回転させると円錐ができる平面図形として正しいものを選ぶ	85.80%		

●児童・生徒の学力向上を図るための調査（小5・中2）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	1-(2)音声を聞き、内容の深まりについて考える問題	45.60%	・文章を読み返し、目的や意図に応じて自分の考えをまとめる力が身に付いている。	・言葉の意味や使われ方に着目し、その語句がどのような心情を表すのに有効かという点まで熟考する必要がある。
	5-(1)物語文を読み取り、描写の効果について読み取る問題	43.90%		
	5-(4)文章を読み取り、登場人物の様子を読み取る問題	29.80%		
算数・数学	作図の結果を見て、その過程について理解する	28.90%	「式と計算」と「関数」の領域では高い正答率を維持している。また、数学的な関心・意欲・態度に関する問題の正答率が高くなっている。	図形の分野において、数学的な見方や考え方を問う問題に課題がみられる。数学的活動を通して課題を解決する力を付けさせる必要がある。
	三角錐の体積を求める	27.20%		
	底面積と体積について理解できている	28.90%		
理科	光の反射や屈折によって起こる現象を日常生活と関連付けて考えることができる	16.70%	「観察・実験の技能」と「必要な情報を正確に取り出す力」の正答率が比較的高く、成果がみられた。	「知識・理解」や「読み取る力」の正答率が低く課題がみられた。
	火成岩の組織のちがいはマグマの冷え方のちがいによることの理解	20.20%		
	離れている地層の関係の理解	15.80%		
社会	1-(2)地図の読み取り	12.30%	知識・理解、社会的な思考は定着している。地理・歴史とも広い視野で考察できる力が身に付いている。	グラフや地図などの資料の読み取りが大きな課題となる。授業内で再度確認し、力をつけていきたい。
	2-(2)雨温図の読み取り	21.90%		
	7-(3)資料の読み取り	32.50%		
英語 ※中学校のみ	資料を読み取って表現する問題	44.20%	・コミュニケーションへの関心・意欲が高い。 ・話し手の意向を聞き取ったり、書き手の意向を正確に理解する問題で一部成果が出ている。	・資料や情報を読み取って正しく書ける力を身に付ける必要がある。 ・英語の文構造（語順）の知識を身に付けさせる必要がある。
	疑問詞で始まる疑問文を作る問題	46.00%		
	必要な情報を正確に読み取る問題	52.20%		